

令和7年8月吉日

## 千葉青調会 8月定例会報告書

千葉青調会代表 勝間田 篤志  
担当幹事(報告書作成) 山口 篤史

**[開催日]** 令和 7 年 8 月 20 日 (水) 17:30 ~ 18:50

**[開催場所]** 船橋商工会議所会議室 3 階 306 号室  
(千葉県船橋市本町1-10-10)

**[参加者]** 10 名

令和7年8月の定例会は「ある調査士のXファイル～本当にあった難解事件」と題し、担当幹事がこれまで関わった事件の中でも難解な3つの事件を紹介し、参加者にも解決方法を考えもらう形式で、受託資料考察パート 解決方法パートに分けて進めていきました。

和紙公図中、畠の等級を示す漢字の線が筆界に採用され直線に曲げが生じた件、和紙の墓地記号( )が登記官により誤って -1、-2と読まれてしまった件、大規模な河川改修、大規模な市区町村合併によって起きた二重登記簿の混乱、戦前戦後の分譲地の道路幅の解釈、建築基準法の前身である4m道路の規制が、戦時の空襲に備えるよう進められて来た歴史的背景などなど広範な知識・知見を必要とする土地家屋調査士として、和紙公図を始めとした、旧資料を考察する事の重要性、歴史の動きに連動・翻弄されてきた地図・謄本の混乱の歴史、その解決方法を考察できるような内容としました。

土地家屋調査士ならばいずれは当たる難解事件。解決の糸口、考え方の共有になれば幸いです。

大変良い内容だったと感想をいただきまして感激です。まだ「豊島区千川の始まりの3軒と言われる一族の墓地抗争に巻き込まれた話」「千葉市の難解な地積更正案件でとても厳しい〇〇登記官に絶賛して頂いた話」「山武市で自作農、道路拡幅、現況分筆、公図上分筆が重なって起きた弊害の話」の3本などありますので、機会があれば皆さんと考察していければと思います。参加者の方々、ありがとうございました。

